

簿記の教科書
日商1級 工業簿記・原価計算 2
基本問題 答案用紙

答案用紙はダウンロードでもご利用いただけます。

TAC出版書籍販売サイト・サイバーブックストアにアクセスしてください。

<https://bookstore.tac-school.co.jp/>

(1) 平均法

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価		完成品総合原価
直接材料費 ()		直接材料費 ()
加工費 ()		加工費 ()
計 ()		計 ()
当月製造費用		月末仕掛品原価
直接材料費 ()		直接材料費 ()
加工費 ()		加工費 ()
計 ()		計 ()
()		()

完成品単位原価： @ 円

(2) 先入先出法

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価		完成品総合原価
直接材料費 ()		直接材料費 ()
加工費 ()		加工費 ()
計 ()		計 ()
当月製造費用		月末仕掛品原価
直接材料費 ()		直接材料費 ()
加工費 ()		加工費 ()
計 ()		計 ()
()		()

完成品単位原価：月初仕掛品完成分： @ 円

当月投入完成分： @ 円

加重平均単位原価： @ 円

問1 正常仕損非度外視の方法

異常仕損費	_____	円
月末仕掛品原価	_____	円
完成品総合原価	_____	円
完成品単位原価	@ _____	円

問2 正常仕損度外視の方法

異常仕損費	_____	円
月末仕掛品原価	_____	円
完成品総合原価	_____	円
完成品単位原価	@ _____	円

(注) 不要な () には「—」を記入すること。

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価		X完成品総合原価
原 料 費 ()		原 料 費 ()
加 工 費 ()		加 工 費 ()
計 ()		正常仕損費 ()
当月製造費用		計 ()
原 料 費 ()		Y完成品総合原価
加 工 費 ()		原 料 費 ()
計 ()		加 工 費 ()
		正常仕損費 ()
		計 ()
		仕損品評価額 ()
		X月末仕掛品原価
		原 料 費 ()
		加 工 費 ()
		正常仕損費 ()
		計 ()
		Y月末仕掛品原価
		原 料 費 ()
		加 工 費 ()
		正常仕損費 ()
		計 ()
	()	()

X完成品単位原価： @ 円

Y完成品単位原価： @ 円

問1

第1工程月末仕掛品原価	_____	円
副産物Cの評価額	_____	円
連産品に按分する連結原価	_____	円

問2

製品Aの完成品総合原価	_____	円
製品Aの完成品単位原価	@ _____	円
製品Bの完成品総合原価	_____	円
製品Bの完成品単位原価	@ _____	円

問3

製品Aの完成品総合原価	_____	円
製品Aの完成品単位原価	@ _____	円
製品Bの完成品総合原価	_____	円
製品Bの完成品単位原価	@ _____	円

問1

(1) パーシャル・プランを採用している場合

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越 ()	製 品 ()	
材 料 ()	次 月 繰 越 ()	
賃 金 ()	原 価 差 異 ()	
製造間接費 ()		
()		()

(2) 修正パーシャル・プランを採用している場合

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越 ()	製 品 ()	
材 料 ()	次 月 繰 越 ()	
賃 金 ()	原 価 差 異 ()	
製造間接費 ()		
()		()

問2

直接材料費差異	_____	円〔 〕
価 格 差 異	_____	円〔 〕
消 費 量 差 異	_____	円〔 〕
直接労務費差異	_____	円〔 〕
賃 率 差 異	_____	円〔 〕
作 業 時 間 差 異	_____	円〔 〕
製造間接費差異	_____	円〔 〕
変 動 費 予 算 差 異	_____	円〔 〕
固 定 費 予 算 差 異	_____	円〔 〕
能 率 差 異	_____	円〔 〕
操 業 度 差 異	_____	円〔 〕

(注) 〔 〕内には、不利差異の場合は「借方」、有利差異の場合は「貸方」と記入すること。

問1 第1法

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価 ()		完成品総合原価 ()
当月製造費用		月末仕掛品原価 ()
直接材料費 578,100		標準原価差異 ()
変動加工費 708,000		
固定加工費 1,000,000		
()		()

直接材料費差異	円〔 〕
価 格 差 異	円〔 〕
数 量 差 異	円〔 〕

加 工 費 差 異	円〔 〕
変動費予算差異	円〔 〕
固定費予算差異	円〔 〕
変動費能率差異	円〔 〕
固定費能率差異	円〔 〕
操 業 度 差 異	円〔 〕

(注) 〔 〕内には不利差異・借方差異であれば「借方」、有利差異・貸方差異であれば「貸方」と記入すること。

問2 第2法

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価 ()	完成品総合原価 ()	
当月製造費用	異常仕損費 ()	
直接材料費 578,100	月末仕掛品原価 ()	
変動加工費 708,000	標準原価差異 ()	
固定加工費 1,000,000		
()		()

直接材料費差異	円〔 〕
価格差異	円〔 〕
数量差異	円〔 〕

加工費差異	円〔 〕
変動費予算差異	円〔 〕
固定費予算差異	円〔 〕
変動費能率差異	円〔 〕
固定費能率差異	円〔 〕
操業度差異	円〔 〕

(注) 〔 〕内には不利差異・借方差異であれば「借方」、有利差異・貸方差異であれば「貸方」と記入すること。

(注)〔 〕内には「有利な差異」の場合にはFと記入すること。
「不利な差異」の場合にはUと記入すること。

問1

購入原料価格差異	原料X	円〔 〕
	原料Y	円〔 〕
	合 計	円〔 〕

問2

原料費の差異分析

原 料 配 合 差 異	原料X	円〔 〕
	原料Y	円〔 〕
	合 計	円〔 〕
原 料 歩 留 差 異	原料X	円〔 〕
	原料Y	円〔 〕
	合 計	円〔 〕

直接労務費の差異分析

労 働 賃 率 差 異	円〔 〕
労 働 能 率 差 異	円〔 〕
労 働 歩 留 差 異	円〔 〕
合 計	円〔 〕

製造間接費の差異分析

予 算 差 異	円〔 〕
能 率 差 異	円〔 〕
歩 留 差 異	円〔 〕
操 業 度 差 異	円〔 〕
合 計	円〔 〕

問1

原料受入価格差異：

原料A _____ 円〔 〕 原料B _____ 円〔 〕

原料消費量差異：

原料A _____ 円〔 〕 原料B _____ 円〔 〕

加工費配賦差異：

_____ 円〔 〕

(注) 〔 〕内には不利差異のときは「借方」、有利差異のときは「貸方」と記入すること。

